

安全データシート

作成日 2002年10月04日

改訂日 2022年05月23日

整理番号 : ハイボンドコートP/6

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称(製品名) : ハイボンドコートP
 会社名 : カナエ化学工業株式会社
 住所 : 兵庫県尼崎市丸島町8-2
 電話番号 : 06-6418-1501 (代)
 FAX 番号 : 06-6419-2269
 緊急連絡電話番号 : 06-6418-1501 (平日 9:00~17:00 対応)
 使用上の制限 : 業務用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に関する有害性 : 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A
 発がん性 : 区分1A
 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1(呼吸器系)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(呼吸器系・腎臓)
 区分2(吸入:肺)

記載の無い項目については「分類対象外」、「分類できない」のいずれかです。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 強い眼刺激
 発がんのおそれ
 臓器の障害のおそれ(呼吸器系)
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系・腎臓)
 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(吸入:肺)
 注意書き : 安全対策
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 : 応急措置
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師に連絡すること。
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 特別な処置が必要である。(このラベル又はSDSの成分情報を見よ。)
 : 保管
 施錠して保管すること。



: 廃棄

内容物/容器を関連条約/法規/条例に従って適切に廃棄すること。

GHS分類に該当しないその他の有害性情報 : —

3. 組成、成分情報

化学品名又は一般名 : 特殊セメント系骨材

成分	CAS番号	化審法番号	含有量
(a) セメント	非開示	登録済み	20-30%
(b) シリカ	14808-60-7	1-548	60-70%
(c) 酸化アルミニウム	1344-28-1	1-23	1-10%
(d) 酸化鉄	1309-37-1	1-357	1-10%
(h) その他	非開示	登録済み	0.1-1%

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。
暖かくして呼吸しやすい姿勢で休息させる。
吐き気等の自覚症状がある場合は、直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類をすべて直ちに脱ぐ。
流水と中性石鹸でよく洗い落とす。
皮膚の刺激や湿疹または、炎症の兆候が認められる場合は医師の治療を受ける。

目に入った場合 : 直ちにきれいな流水で15分以上洗眼した後速やかに眼科医の手当てを受ける。
洗眼の際、眼瞼を指でよく開いて眼瞼、眼球のすみずみまで水が行きわたるように洗う。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり取り外して洗浄を続ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに医療処置を受ける手配をする。
無理に嘔吐させてならない。
嘔吐が生じる場合は気道を確保する為に、うつぶせにするか、または、左側を下にして寝かせる。
口をすすぐ。
意識のないまたは、意識消失になりそうな被災者には口から何も与えてはならない。

応急措置をする者の保護 : 特になし

医師に対する特別な注意事項 : 特になし

事項

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末、泡、二酸化炭素（炭酸ガス）、乾燥砂を使用する。
散水または噴霧水は大規模な火災の場合のみ利用。

特有の危険有害性 : 燃焼すると、一酸化炭素等の有毒ガスを発生させる可能性がある。

特有の消火方法 : 火災発生周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火作業の際には必ず呼吸用保護具と防護用衣類を着用する。
初期の火災には、粉末、二酸化炭素（炭酸ガス）、乾燥砂を用いる。
液体状の露出したものに水を噴霧しない。
過熱された容器に接近しない。
大規模火災の際には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。

消火を行う者の保護 : 保護具（呼吸用保護具、化学防護服、手袋、長靴、眼鏡、マスク等）を着用し、風上から作業を行う。（吸入や直接接触を避ける。）

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 暴露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
漏出した場所周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。
付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。



環境に対する注意事項 : 地下浸透及び河川、下水道等公共水域への流入を防止する。
 除去方法 : 少量の場合は乾燥砂、ウエス等に吸収させて密閉可能な空容器に回収し、残りは拭き取る。
 大量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全を確保した後に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 設備の密閉化、局所排気装置の設置等通気の良い場所にて取り扱う。
 保護眼鏡、防毒マスク、不浸透性手袋等の保護具を着用する。
 火気、静電気、衝撃火花等の着火源が生じないように注意する。
 漏れ、あふれ、飛散等がないように注意して取り扱う。
 取扱い後は、うがい、手洗い、洗顔を充分に行う。
 保管 : 高温または高湿を避け、適切な換気のある乾燥した冷暗所に密栓して保管する。
 消防法、労働安全衛生法等、関係法例の定めるところに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 製品としては設定されていない。
 許容濃度 : 製品としては設定されていない。
 設備対策 : 取り扱い設備は防爆型を使用する。
 蒸気の発生源を密閉する設備または局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク、送気マスク
 手の保護具 : 不浸透性手袋
 目の保護具 : 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業服、不浸透性前掛け、腕カバー、長靴
 衛生対策 : 作業場所付近に洗眼、身体洗浄設備を設置する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 粉体
 色 : 灰色～黒褐色
 臭い : なし
 融点/凝固点 : データなし
 沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし
 可燃性 : データなし
 爆発限界及び爆発上限界/可燃限界 : 製品としてはデータなし
 引火点 : なし
 自然発火点 : データなし
 分解温度 : データなし
 pH : 12～13 (水に接触した場合)
 動粘性率 : データなし
 溶解度 : データなし
 n-オクタノール/水 : データなし
 分配係数 (log 値) : データなし
 蒸気圧 : 製品としてはデータなし
 密度及び/又は相対密度 : 約2.5～2.8
 相対ガス密度 : データなし
 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の手扱いにおいては安定
 危険有害反応可能性 : 知見なし



避けるべき条件 : 低温 (5℃以下) 及び高温 (40℃以上)
 避けるべき材料 : 水分 (湿気)、高温、直射日光
 危険有害な分解生成物 : 分解性ガス (一酸化炭素、アルデヒド類) など

1.1. 有害性情報

急性毒性 : GHS分類に該当する物質を含まない又は、不明 (別表記載)
 皮膚腐食性/刺激性 : GHS分類に該当する物質を含む (別表記載)
 眼に対する重篤な損傷性
 /眼刺激性 : GHS分類に該当する物質を含む (別表記載)
 呼吸器感作性又は
 皮膚感作性 : GHS分類に該当する物質を含まない又は、不明 (別表記載)
 生殖細胞変異原性 : GHS分類に該当する物質を含まない又は、不明 (別表記載)
 発がん性 : GHS分類に該当する物質を含む (別表記載)
 生殖毒性 : GHS分類に該当する物質を含まない又は、不明 (別表記載)
 特定標的臓器毒性
 (単回ばく露) : GHS分類に該当する物質を含む (別表記載)
 特定標的臓器毒性
 (反復ばく露) : GHS分類に該当する物質を含む (別表記載)
 誤えん有害性 : GHS分類に該当する物質を含まない又は、不明 (別表記載)

1.2. 環境影響

生態毒性
 水生環境有害性 (急性) : GHS分類に該当する物質を含まない又は、不明 (別表記載)
 水生環境有害性 (長期間) : GHS分類に該当する物質を含まない又は、不明 (別表記載)
 残留性・分解性 : 製品としてはデータはなし
 生体蓄積性 : データなし
 土壌中の移動 : データなし
 その他の有害影響
 (オゾン層への有害性) : GHS分類に該当する物質を含まない又は、不明 (別表記載)



別表 ー 単一物質ごとのGHS分類の各区分

		(a)	(b)	(c)	(d)
		特殊セメント	シリカ	酸化アルミニウム	酸化鉄
急性毒性 (基本的にラット)	経口	分類できない	分類できない	区分に該当しない	分類できない
	LD50 (mg/kg)				
	経皮	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
	LD50 (mg/L)				
	吸入：気体	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
	LC50 (ppm)				
	吸入：蒸気	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない
LD50 (mg/L)					
吸入：粉塵、ミスト	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	
LD50 (mg/L)					
皮膚腐食性／刺激性		分類できない	分類できない	分類できない	区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		分類できない	分類できない	分類できない	区分1
呼吸器感受性		分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
皮膚感受性		分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性		分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
発がん性		分類できない	区分1 A	区分に該当しない	区分に該当しない
生殖毒性		分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
特定標的 臓器毒性	単回ばく露	分類できない	区分1 (呼吸器系)	区分3 (気道刺激性)	区分3 (気道刺激性)
	反復ばく露	分類できない	区分1 (呼吸器系・腎臓)	区分1 (吸入：肺)	区分1 (呼吸器系)
誤えん有害性		分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
環境有害性					
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
	オゾン層への有害性				



- 1 3. 廃棄上の注意 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、可燃性液体に関する一般的な注意による。
- ・珪藻土等に吸収させて開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
 - ・「廃棄物の処理並びに清掃に関する法」等に従って処理及び廃棄を行うか、又は許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処分する。
- 1 4. 輸送上の注意
- 国連番号 : 該当しない
- 品名 : —
- 国連分類 : —
- 容器等級 : —
- 指針番号 : —
- 国内規制
- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
- 海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
- 航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。
- 注意事項 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器に破損、漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。「火気厳禁」「天地無用」
- 1 5. 適用法令
- 消防法 : 該当しない
- 化学物質管理促進法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 名称通知 / b、c、d : 該当する
名称表示 / b、c、d : 該当する
有機則 / 該当しない
- 1 6. その他の情報
- 記載内容の問い合わせ先 : 技術課
- 引用文献 : GHS分類結果データベース (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) 他
- ・危険、有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意して下さい。
 - ・この安全データシートは当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実用性を対象としたものです。
 - ・ここに記載された内容は、現時点での最善の見解に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保障するものではありません。また、全ての化学品には未知の有害性が考えられる為、取扱いには細心の注意が必要です。
 - ・ご使用の際は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適切な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。
 - ・この安全データシートは法令の改正、及び新しい見解に基づいて改訂されることがあります。

